

委員会視察成果報告書

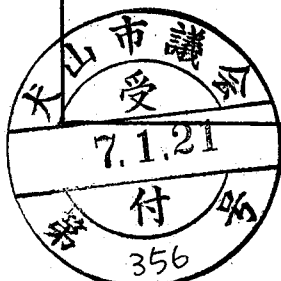
2025年 / 月 2 / 日

犬山市議会議長

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 / 月 14 日(火) ~ 2025年 / 月 15 日(水) (/ 泊 2 日)
(2) 視 察 地	京都府京丹後市 峰山片倉
(3) 視察の種類	<u>常任</u> ・特別 委員会 (総務 委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	1. 地域公共交通施策について 京丹後市は、人口5万人、面積501km²。H16年67の町が合併し誕生。 ① 上限200円バスの取り組み 「バス運行は住民福祉施策」「700円で2人の利用より、200円で7人の利用」という方針のもと、運賃を上限200円とし、導入前に比べ乗車人員は約2.5倍に増加 ② ささえ合い交通 NPO法人「気張る!ふるさと丹後町」が運行主体となり、Uber(ウーバー)のアプリを使って即時配車。住民ドライバーがマイカーで運行 ③ mobi AIオンデマンドモビリティ(予約型乗合タクシー) 買い物や通勤・通学・通院などマイカーに代わる「ちょい乗り」サービス。R3より実証実験を開始し、改善を重ねてR6年7月から運行開始 ④ 京丹後版ライドシェアの導入 R7年4月から路線バス3路線の廃止が予定されるに伴い、導入し実証運行を実施
(5) 犬山市に 対する提言	1. 京丹後市は、合併により過疎化が進み、タクシー会社が撤退、バス路線も廃止というきびしい状況の中で、様々な取り組みが実施されてきた。「バス運行は住民福祉施策」との位置づけは犬山でもとり入れてほしい。 2. ドア・ツー・ドア、デマンド方式の導入を検討してほしい。 3. R8年のかん九くんバス再編に向け、犬山の現状をふまえた路線や運行スケジュールの見直しを適切に行ってほしい。



委員会視察成果報告書

2025年 1 月 21 日

犬山市議会議長

議員名 岡村千里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 1 月 14 日(火) ~ 2025年 1 月 15 日(水) (泊 2 日)
(2) 視 察 地	京都府京丹後市 NPO法人「気張る!ふるさと丹後町」
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (総務 委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	2. ささえ合い交通について ささえ合い交通は、Uber(ウーバー)で配車レマイカーを使ったライドシェア。丹後町には、病院や大型スーパーもなく、丹後半島北端でバス路線が廃止された。H21年NPO法人「気張る!ふるさと丹後町」を設立。H28年5月「ささえ合い交通」を運行開始。8年実績があるドライバルの現状は、男性10名、女性3名、年齢は36歳~74歳(平均66歳、年齢制限:75歳)車両は、ドライバーが所有する自家用車、保険は、NPOが団体保険に加入①移動サービス事業者向け自動車保険②自動車事故以外の賠償責任保険 配車のし方は、①ウーバーアプリで車を呼ぶ②ドライバーが受け、③車に乗る④目的地に到着 最初の1.5kmまで480円、その後1kmごと120円追加。ドア・ツー・ドアで楽に移動でき、高齢者の免許返却後の促進に貢献、民間バス路線廃止後の代替交通として活躍している。 NPOの単独事業で素晴らしいから、NPOの束ねの負担が大きい。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	1. 過疎化が進んだ地域で、NPOの方の情熱が伝わってきた。犬山の公営ライドシェアはドライバー6名確保したがい、その後4名となり、長期に持続することは困難と思われる。R8年の再編(かんかんバス)との兼ね合いも含め、検討してほしい。 2. NPOの束ねのようなリーダシップをとれる人材が必要だ。 市民参加での勉強会、シンポジウムを開くなどして、人材育成を進めてほしい。